

E.L.F.

EQUALITY

LIBERTY

FRATERNITY

2019

68

spring

ココって
いったい
どんなトコ?

こうえきざいだんほうじん

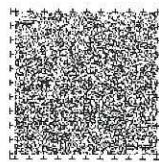
公益財団法人

わがやまけんじんけんけいはつ

和歌山県人権啓発センター

今年度は
こんな事業
やります。

こうえきざいだんほうじん
公益財団法人
わがやまけんじんけんけいはつ
和歌山県人権啓発センター
今年度の主な事業





公益財団法人
和歌山県人権啓発センター

このコーナーでは、さまざまな団体や作業所など、いろいろなところを訪問して、活動内容を紹介してきました。今回は、改めて「和歌山県人権啓発センター」の中で、実際に県民のみなさんが利用できるサービス等をご紹介します！

当センターは、「人権」についての学びや気づきを提供するため、県民のみなさんに開かれた場所です。どうぞお気軽にご利用ください。

<ビデオの貸出>

無料でビデオの貸し出しをおこなっています。貸出本数は2本まで、期間は1週間です。(賛助会員は優遇制度あり)

平成30年度の貸出ランキングなど、ぜひ参考にしてみてください。

ビデオ貸出ランキング

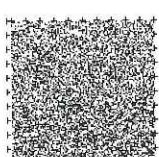
1位：えっ！これも人権？

当センター作成の「えっ！これも人権？」は、「子ども」「暮らしだ」「会社」、3つの枠の中でさまざまなエピソードを通して人権を考える構成になっています。日常生活の中にも、人権を考えるヒントがくれています。人権について考えたことがないという方にもオススメの1本です。



2位：風の匂い

2人の青年が主人公のドラマ作品です。健常者と障害者を分ける「壁」は何か。そして、その壁をつくっているのは誰なのか。平成28年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、障がいのある人の人権への関心が高まるなか、私たちにできることを「合理的配慮」も交えて構成されています。



3位：聾の形

「このマンガがすごい！2015」オトコ編第1位に輝いた原作を実写化した作品です。原作の物語を基本に、教材としてのテーマを付加したドラマ形式の学習教材で、「いじめ」や「障がい」について、子どもたちが主体的に考えられるようつくられています。学習指導案とワークシート案が収録されているため、先生方にもオススメです。



4位：あなたに伝えたいこと

「同和問題は終わった」といわれることもありますが、特別対策が終了しただけであり、同和問題は解決してはいません。それどころか、インターネットの発達により、より巧妙に、より悪質になっているのが現状です。「あなたに伝えたいこと」では、主人公の女性が、物語が進むなかで、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしてきたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、同和問題やすべての差別をなくしていくためにはどうすればいいかを考える構成になっています。



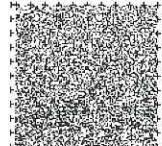
5位：障がいを越えて

「障がいを越えて」は、手話バンドや車いすダンスなど、3つのイベントを実例として取り上げたドキュメンタリー作品です。自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまうことから差別は始まります。勇気を持って相手に近づくことの大切さ、それによって心を通わせられる喜びを、3つの実例から学べます。



「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行され、障がいのある人の人権や同和問題に対する関心が高まっていることが感じられます。「一人ひとりにできることは何なのか」を具体的に考え、課題を我がこととして捉えようとする傾向も伺えます。

他にもたくさんのビデオ作品を取りそろえております。ぜひ、ホームページで検索してみてください。



<啓発冊子の作成>

県民のみなさんに、さまざまな人権問題に关心を持っていただき、研修等にも活用できるよう、啓発冊子を作成しています。冊子はすべて無料です。ご希望の方は当センターまでご連絡ください。(送料がかかる場合はご負担願います。)

啓発冊子利用ランキング

1位：人権ってなあに？

さまざまな人権についてわかりやすく紹介した、「人権への入口」ともいえる1冊です。行政機関や学校、企業等、幅広くご利用いただいています。



2位：同和問題の解決をめざして 部落差別の解消の推進に関する法律の成立

2017年に成立した同法について簡潔に解説しています。市町村や教育委員会からの希望が多い冊子です。



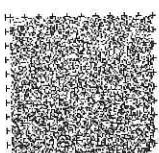
3位：わたしにできること－考え方よ、「障害」のこと－

障害や共生について考える際に最適です。図解やイラストを取り入れ、「障害とは何か」ということを基礎的な部分から理解し、共に生きるために必要なことについて考えるきっかけとなるものです。



4位：ココロとココロー家庭・地域編－

「ココロとココロ」は「職場編」「子ども編」「家庭・地域編」の3種がありますが、誰にとっても身近に感じられる「家庭・地域編」が一番の人気です。お互いの人権を大切にする社会をつくるためには、円滑なコミュニケーションが不可欠です。「違う」や「適切な伝え方」などを主軸にした内容で、「人権」という堅苦しいイメージが払拭されるかもしれません。



5位：ココロとココロー子ども編ー

幼くとも、子どもは1人の人間であり、独立した人格です。それを踏まえたうえで話を聴き、伝え、双方が納得する。一見簡単なようですが非常に難しいとは思いませんか？子どもとのコミュニケーションがうまくいかなかったり、難しいと感じたりしたとき、ぜひ読んでいただきたい1冊です。



活用してくださっているのは、行政機関や教育機関、企業や団体の方など、さまざまです。企業、団体の中では特に、介護・福祉分野の方が多く、福祉と人権の関係の深さが伺えます。

今回紹介した冊子はすべて、10ページ前後のボリュームですので、少しの時間でも気軽にお読みいただけます。もちろん、人権研修の教材としての活用もおすすめです。

その他に高齢者の人権や職場の人権をテーマとした冊子などもございます。当センターホームページにすべての発刊物を記載しておりますのでご覧ください。冊子をご希望の方には無料で配布しています。（送料がかかる場合があります。）

＜人権ギャラリー(研修室)の貸出＞

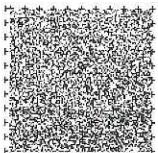
3人掛けで50人程度座れる広さの研修室があり、人権に関する催しや会議などにお使いいただけます。当センターでは、会議のほか、小規模のイベントや展示会などに活用しています。

●例え…

2月13日（水）「じんけん絵本セレクション」を開催しました！

幼児やその保護者、または幼児の人権啓発に興味のある方を対象に、「人権を伝えるためのおすすめ絵本」を紹介する講座をおこない、地域の保育所の園児さんと先生方などが参加してくれました。

手あそびやエプロンシアターを交えながら進行し、「自分を大切にする」「みんなちがってみんないい」ということを考えながら、絵本を聴いている姿が見られました。



こんねんど じぎょう 今年度はこんな事業やります。

じんけんかんかく そだ じぎょう 人権感覚を育てよう事業

わかやまけん かいはつ さいじむ じんけんけいはつ つか こどもたちの心に思いやりやいたわりを育む事業です。

このプログラムでは、ゲームやスキンシップなどを通して、子どもたちが自分自身を大切に思う気持ちを育み、違いを見つめてそれらを認められる感性を養うことをねらいとしています。

今年度は、プログラムを実施するファシリテーターを育てる「講師養成セミナー」、ファシリテーターが園や施設を訪問してプログラムを実施する「出張講座」を実施する予定です。

●講座名 みんな、たいせつ「人権感覚を育てよう」プログラム講師養成セミナー

●講座内容 幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を用いて、午前2時間の講義で幼児の発達に応じた人権教育とプログラムについて学び、午後3時間は実際にプログラムを使ったワークを実践します。教育や保育の関係者だけでなく、子どもに関わる活動をされている方、保護者の方など、たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

●実施時期 6月 (P.8 参照)

●講座名 「みんな、たいせつ」プログラム出張講座

●講座内容 幼児向け人権啓発プログラム「みんな、たいせつ」を県内の幼稚園・保育所・認定子ども園等に訪問し、実施します。プログラムの体験を通じ、子どもたちの人権感覚を育むきっかけ作りを行うとともに、訪問先の教諭・保育士の方に手法を伝え、普段の保育や教育に取り入れていただくよう促します。

●応募締切 2019年7月1日 (月)

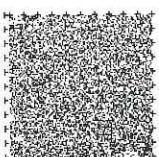
●訪問期間 2019年9月～2020年2月



じんけん かんが こうかいこうざ 人権を考える公開講座

さまざまな人権問題をテーマとした、セミナーやワークショップを開催しています。昨年度は

おとな はつたつしおがい かん こそだ なや さんかしゃ きょうゆう 大人の発達障害に関するセミナー、子育ての悩みを参加者みんなで共有するワークショップ、車いすバスケットボールの体験などを行いました。



今年度は、障害のある人の人権に関するセミナー、よりよいコミュニケーションについて考えるワークショップ、子ども向け体験教室などを予定しています。各講座は和歌山県内に通勤、通学、お住まいの方はどなたでも無料で参加できます。

詳細については決まり次第、チラシやセンターホームページでお知らせいたします。

啓発資料の作成

人権問題を身近なものとしてみなさんにとってもらいため、さまざまなテーマの啓発資料を作成しています。今年度は「性の多様性と人権」についての冊子を作成予定です。

ふれあい人権フェスタ 2019

「人権が尊重される社会づくり」と「人権文化の創造」をめざして、多くの県民の方々に参加していただくことにより、私たちの身のまわりにあるさまざまな人権に関わる問題を、一人ひとりが自分自身の課題としてとらえ、理解と関心を深め、人権意識を高めてもらおうと、毎年、和歌山ビッグホエールに170を超える団体等（昨年度は176団体）にご出展いただき、開催しています。

今年度も11月中の開催予定です。

詳細が決まり次第、センターホームページ、チラシ等でお知らせいたします。

※写真は昨年度の様子です。



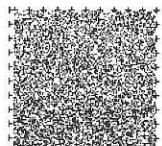
「人権の詩（こころのうた）2019」募集

普段の何気ない生活の中で、ともすれば見過ごしがちな出来事を「人権」という視点から「詩」につづってみませんか？身近な「人権」について見つめ直す機会になるはずです。

●対象 県内に在住、または県内に通勤・通学している方

●募集期間 2019年7月1日(月)～9月5日(木)

●応募方法 作品に名前(ふりがな)、年齢、学校名(学年)または勤務先(所在地)、住



所、電話番号を記入のうえ、ご応募ください。

- 賞 小学生／中学生／一般(高校生含む)の部 知事賞 各1人(賞状・副賞図書カード5千円)
理事長賞 若干人(賞状・副賞図書カード1千円)

※入賞者には、10月下旬頃に決定通知を送ります。

- 表彰 和歌山ビッグホールで開催予定の「ふれあい人権フェスタ2019」において、知事賞の表彰・入賞作品の展示を行います。

「人権啓発ポスターコンテスト」募集

人権を尊重する社会を創っていくのは私たち一人ひとりです。人権意識を高め、豊かな人権感覚を身につけるため、自ら考え、ポスターを作ってみませんか？
 「みんなで築こう人権の世紀～考え方相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～」
 の趣旨に沿って、作品にはキャッチコピーを入れて、人権に関する自由な発想で描いてください。

- 対象 県内に通学する児童・生徒(小・中・高等学校、特別支援学校)

- 募集期間 2019年7月1日(月)～9月5日(木)

※原則、学校にてとりまとめのうえ、提出。

※入賞作品は、10月中旬～下旬に学校を通じて連絡。

- 規格 四つ切りサイズ。使用画材は自由。裏面に学校名、学年、名前(ふりがな)を必ず記入してください。

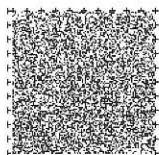
- 賞 小学生／中学生／高校生の部 最優秀賞 各1人(賞状・副賞図書カード5千円)
優秀賞 若干人(賞状・副賞図書カード1千円)

※最優秀賞作品は、和歌山県の「同和運動推進月間(11月1日～11月30日)」「人権を考える強調月間(11月11日～12月10日)」の啓発ポスターに使用します。

インターネット上での人権侵害対策事業

インターネット上には、差別表現や人権侵害に関する情報が掲載され、拡散されている状況です。ネット上の問題点や正しい使い方を学ぶために、ネット専門家を招き、講演会等を開催します。

- 開催時期 2020年1月(予定)



じんけんかんかく そだ じ ぎょう
人權感覚を育てよう事業

「みんな、たいせつ」講師養成セミナー

じんけん かん こう ぎ じっさい たいけん
人權やプログラムに関する講義と、実際のプログラム体験で、

あなたも「みんな、たいせつ」のファシリテーターに！

ご参加お待ちしています。

●日時 第1回：2019年6月12日（水）10:00～16:00

（10:00～12:00講義、13:00～16:00演習）

第2回：2019年6月13日（木）10:00～16:00

（10:00～12:00講義、13:00～16:00演習）

●場所 第1回：伊都振興局 3階大会議室

（橋本市市脇4丁目5-8）

第2回：有田振興局 3階大会議室

（有田郡湯浅町湯浅2355-1）

●定員 各会場30人（申込先着順）

●対象 保育所・幼稚園・認定こども園職員、一時保育者、その他幼児と関わる活動に従事している方、講座に興味のある一般の方等



人権ホットライン

人権でんわ相談

さまざまな問題や悩みを抱える
相談者に助言を行い、
自身が主体的に問題を解決する
ための支援を行います。

一般相談

①開設日時／毎週月曜日～金曜日

午前9時～午後4時（祝日・12/29～1/3は休み）

②相談方法／電話相談

TEL 073-421-7830

弁護士による無料法律相談

①開設日時／毎月第2・第4木曜日

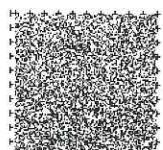
午後1時～4時（当日が祝日の場合はその翌日）

②相談方法／面接相談（お電話でご予約ください）

TEL 073-435-5420

ひ ざろ せいかつ なか じんけん かん こま ごと
白頃、生活中で人権に関するお困り事などがありましたら、

き がる そ う だん
お気軽にご相談ください。



新着情報①

しんちやくじょうほう1

じんけん 人権ライブラリー(書籍)のご紹介

はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで (ナツメ社)

LGBT(性的マイノリティ)の基礎からトレンドまで、この1冊で押さえられるコンパクトな基本書です。はじめて学ぶ方や、より理解を深めたい方に向け、豊富な図解と丁寧な文章で、やさしく解説します。セクシュアリティに関する基本的な用語や、LGBTと社会の関係、「そこが知りたかった」という情報が満載の1冊です。

いしだひとし
石田仁(著)



パウルのスケッチブック (BL出版)

みやざきひろかず(作)

おしゃべりが苦手なパウルは、みんなに誤解されることも多いのですが、大好きな絵で伝えたいことがいっぱいあります。苦手なことがあっても、好きなことや得意なことで自分を表現するパウルと、そんなパウルをあたたかく見守り、自然に受け入れる家族や友だちの姿に、心温まります。



しんでくれた (佼成出版社)

たにかわしゅんたろうさくつかもと
谷川俊太郎(作)、塙本やすし(絵)

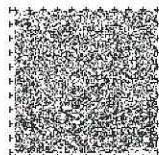
谷川俊太郎さんの詩が、絵本になりました。生き物が「しんでくれた」ことにより私たちの食卓にはたくさんの料理が並びます。人は、多くの命をいただいて生きているということを、心に響く言葉とインパクトのある絵で味わうことのできる作品です。



目の見えない人は世界をどう見ているのか (光文社)

いとうあさ
伊藤亜紗(著)

私たちは普段、五感一特に視覚に頼って情報を得ています。その視覚を取り除いてみると、世界はどう見えるのか? 視覚障がい者の空間認識や感覚の使い方、コミュニケーションの仕方などに注目し、ユーモアを交えながら、「見る」ということそのものを問い合わせ直します。



新着情報②

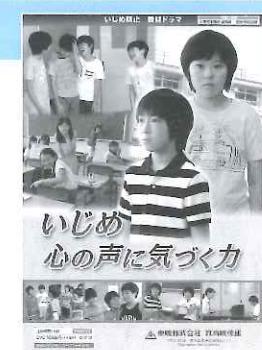
人権ライフラリー(人権啓発 DVD)のご紹介

あした咲く (36分)

独身で会社員の妹と、専業主婦の姉がそれぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えるなか、家族や同僚、地域の人々などさまざまな人との関わりを通して、別の視点や価値観に気づいていきます。性別にかかわらず、その個性と能力を充分に發揮し、ともに輝ける共生社会をめざすためにはどうすればいいかを考えるための教材です。



いじめ 心の声に気づく力 (19分)



小学校中・高学年向けの、いじめ防止教材ドラマです。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていれば、それはいじめです。本作品では、子供たちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。

わからないから、確かめ合う - コミュニケーション - (29分)

ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。他者の事情や気持ちは、確かめなければわかりません。人権尊重の社会をつくる一歩のため、「コミュニケーション」を見直してみませんか?

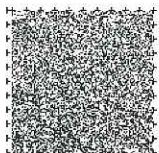


アイム ヒア 僕はここにいる (54分)

知的には遅れないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる「発達障害」の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかをまなび、すべての人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとします。

- 書籍、人権啓発 DVD、VHS ビデオの貸し出しもおこなっています。

詳しくは HP をご覧ください。 <<http://w-jinken.jp/>>



2019(平成31)年度 賛助会員を募集しています!

公益財団法人和歌山県人権啓発センターでは、人権に関するあらゆる情報を収集し、それをセンターだよりやホームページなどを通じてみなさまに提供しています。また、セミナーやワークショップを開催し、人権意識を高めるためのさまざまな活動を展開しています。

センターの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援をお願いします。

会費 年会費は次のとおりです。年度途中の入会、脱会による減額はありません。

個人／一戸 2,000 円、団体／一戸 10,000 円 (何戸でもご入会いただけます)

特典 *センターだよりの送付 (季刊発行のセンターだより、「E.L.F. (エルフ)」)

*各種事業開催のご案内 (セミナーやワークショップ、イベント等)

*啓発資料の送付 (センター作成の啓発資料等)

*人権ライブラリー (閲覧室) 優待利用 (貸出枠の増加等)

*人権ギャラリー (研修室) 優待利用 (電話予約、申込受付開始の優遇)

*人権に関する情報提供

*講演会・研修会等のコーディネートや講師派遣

入会手続き ご連絡いただければ、入会申込書をお送りします。



エルフ
E.L.F.

公益財団法人 和歌山県人権啓発センター

Equality／平等 Liberty／自由 Fraternity／友愛

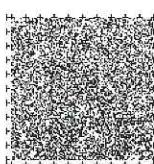
お問い合わせ 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛2階
TEL 073-435-5420 FAX 073-435-5421
URL <http://w-jinken.jp/> E-mail mail@w-jinken.jp

開館時間 9:00 ~ 17:45 *人権ライブラリー・人権ギャラリーは、
9:30 ~ 17:00

休館日 日曜・祝日、年末年始 (12/29~1/3)

交通案内 JR 和歌山駅から徒歩約20分、バス:約5分「手平出島」下車
JR 宮前駅から徒歩約7分
南海和歌山市駅からバス:約20分「手平出島」下車

有料駐車場あり 100円/50分 (30分以内無料)



地球環境保護のために、再生紙と植物油インキを使用しています。